

教務所たより

2025年8月号

今月の掲示伝道

教務所・教務支所開所時間

平日 9時から17時まで

土日祝日は休み

しん ぐ ぜい ぶつじ た
心を弘誓の仏地に樹て、

ねん なんじ ほうかい なが
念を難思の法海に流す。

『教行信証』化身土・末卷

教務所からのお知らせ

●教務所長の異動について

このたび、2025年7月1日付で小松大聖寺教務所長の異動がありましたのでお知らせします。

転任のご挨拶 保木 悦雄

このたび、教学研究所事務長を拝命し、本山勤務となりました。小松大聖寺では5年3カ月の間お世話になり、お育ていただきましたこと深く感謝いたします。

とりわけコロナ下の状況にありながらも、教区改編を皆様とともに成し遂げられたことは大きな喜びでありました。皆様には、先達のご苦勞によって受け継がれてきた御講の歴史と伝統に自信と誇りをもって、「御講の維持と活性化」に一層のご尽力をいただきますことを切にお願い申しあげまして、転任のご挨拶とさせていただきます。

着任のご挨拶 宮尾 隆造



このたび、小松大聖寺教務所長を拝命いたしました。自坊は東京教区に在し、前任地は東京宗務出張所長として東京都練馬区にある東本願寺 真宗会館に勤務しておりました。

小松大聖寺教区におかれましては、御講の営みが各地にわたり、お念仏申す門徒の皆様によって教えが尊く受け継がれておりますことに、深く敬意を表する次第でございます。今後は、皆様とともに聞法の歩みを重ね、宗務に励んでまいります。何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

本来であれば、早速拝眉の上ご挨拶申しあげるところではございますが、まずは略儀ながら書中をもって着任のご挨拶を申しあげます。

●教務所員の異動について

このたび、2025年8月1日付で小松大聖寺教務所員の異動がありましたのでお知らせします。

転任のご挨拶 いなべ かずみち
員 辨 一 道

このたび、南米開教監督部書記を拝命しました。新たな勤務地は国外になり、ブラジルのサンパウロとなりました。教区改編前に初任地として旧大聖寺教務所に着任して以来、小松大聖寺教務所と合わせて4年間、お世話になりました。このたびの転任により、遠く離れた南米の地でのご縁をいただくこととなりますが、これまで小松大聖寺教区でお育ていただいた学びと経験を胸に、宗務に励んでまいりたいと存じます。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



●「正信偈」に親しむ推連協シリーズ講座

7月17日（木）小松大聖寺教務所にて推進員連絡協議会主催のシリーズ講座が行われ30名の参加がありました。講師は清水恵氏（第1組恵照寺）講題は「正信偈」～私に呼びかける念仏の声～。親鸞聖人の教えを「どのようないのちも必ず尊いいのちとして生きることができるのだ」ということを説き明かしたのが阿弥陀の本願であり、その法を説くことこそお釈迦さまがこの世に生まれた本当の目的「出世本懷」であると、資料を使って丁寧に話されました。次回は8月26日（火）に開催されます。ぜひご参加ください。

●教区帰敬式 是非ともお申し込みください！（次は再来年5月になります）

日 時：9月5日（金）【午前の部】 9：00～11：30

【午後の部】 13：15～15：45

会 場：常磐会館（小松大聖寺教務所）〔小松市小馬出町26 TEL 0761-22-0555〕

礼 金：13,000円（内記念品代3,000円）20歳以下は、お一人8,000円

※8月1日以降キャンセルの場合は10,000円のみ返金いたします。

募 集：午前・午後各70人 ※定員になり次第締切。座席は全てイス席です。

申込状況：午前38人 午後18人 **※午前は残り32人 午後は残り52人**

服 装：礼服でなくても結構ですがTシャツ、ジーンズや華美なものはお控えください。

※例 【男性】ダークスーツなど 【女性】暗めのアンサンブルなど

持 ち 物：念珠・受式券（申込受付時にお渡しします。）

申 込：教務所、教務支所備付けの申込書に礼金を添えて、平日9時から17時の間に
教務所または教務支所へお申し込みください。申込書と礼金の受理をもって申
込完了とします。

締 切：2025年8月12日（火）まで

締切まで残りわずかです！

法 名：法名には、「本山選定法名」と「住職選定法名」の2通りがあります。

「本山選定法名」は『仏説無量寿経』の中から選定されます。「住職選定法名」は、お手次（所属）の寺院・教会の住職に選定いただくものです。「住職選定

法名」を希望の場合は、あらかじめお手次（所属）の寺院・教会にご相談し、
法名を選定いただいてからお申し込みください。

●常磐会館（小松大聖寺教務所）報恩講について

このたび、常磐会館報恩講を下記のとおり勤めます。皆様になお一層のご参詣をお願いいたします。

日 時：9月12日（金）9時30分から11時30分まで

会 場：常磐会館（小松大聖寺教務所） 小松市小馬出町26

法 話：出雲路 修 氏（第1組毫攝寺）

日 程： 9：30 勤行（正信偈 草四句目下／念仏讃 淘三

和讃 弥陀大悲の誓願を 次第六首／回向／御俗姓）

10：15 法話

11：30 終了

●常葉会館（大聖寺教務支所）報恩講について

このたび、常葉会館報恩講を下記のとおり勤めます。皆様になお一層のご参詣をお願いいたします。

日 時：9月22日（月）13時30分から15時30分まで

会 場：常葉会館（大聖寺教務支所） 加賀市大菅波町フ8-1

法 話：但馬 末利花 氏（第1組興宗寺）

日 程：13：30 勤行（正信偈 草四句目下／念仏讃 淘三

和讃 弥陀大悲の誓願を 次第六首／回向／御消息）

14：15 法話

15：30 終了



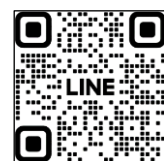
●小松大聖寺教務所・大聖寺教務支所 8月夏期休暇について

土・日・祝日は教務所事務休止とさせていただきます。また、下記の期間は、夏季休暇のため事務休止とさせていただきます。8月12日（火）9時30分からの十二日講は、通常とおり開催します。

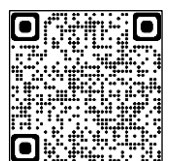
【夏季休暇】2025年8月13日（水）から15日（金）まで

教区公式LINEアカウント・教区ホームページのご案内

小松大聖寺教区からのお知らせを、教区ホームページや教区LINEにてご案内しております。教区LINEでは、災害時に緊急連絡を行うこともありますので、右記のQRコードをLINEアプリで読み取り、ぜひご登録ください。



LINE



教区 HP

【2025年8月】

小松大聖寺教区 月間行事予定表

日	曜日	小松地区 [小松大聖寺教務所]	大聖寺地区 [大聖寺教務支所]	
1	金	5:45 暁天講座[教務所]	5:45 暁天講座[サテライト会場] 午後 教務支所事務休止	
2	土	5:45 暁天講座[教務所]	5:45 暁天講座[サテライト会場]	
3	日	8/3～8/4 の暁天講座について、 教務所でのサテライト会場は無し	5:45 暁天講座[教務支所] 9:30 西組組講[日谷町集会所] 10:00 中組組講[弓波町集会所]※8/10から変更	
4	月		5:45 暁天講座[教務支所] 午後 教務支所事務休止	
5	火			
6	水		教務支所事務休止	
7	木	9:30 門徒総会[教務所]	教務支所事務休止	
8	金	13:30 選挙管理会[教務所]	13:30 知恩講[下栗津町松榮寺]	
9	土			
10	日	9:30 十日講組御講[荒屋町公民館]	9:30 北組組講[田尻町法壽寺]	
11	月	祝日		
12	火	9:30 十二日講[教務所] 当番:十日講組 講師 滋野井 光 氏(第2組稱佛寺) 講題 「溝に架かる橋」 11:30 小松地区組門徒会長会[教務所]	[大聖寺教務支所] 8/9(土)から8/18(月)まで 事務休止日となります。	
13	水	[小松大聖寺教務所] 8/13(土)から8/17(日)まで 事務休止日となります。		
14	木			
15	金			
16	土			
17	日		9:30 南組組講[山代温泉専光寺] 10:00 東組組講[中島町公民館]	
18	月	13:30 北板津組十八日講[和気町公民館]		
19	火	13:30 苗代組御講[波佐谷町公民館]	13:30 第1回伝道研修[教務支所]	
20	水		9:00 第1回伝道研修[教務支所] 教務支所事務休止 ※事務は休止します。	
21	木	10:00 徳橋組門徒会総会[教務所] 14:00 大谷大学同窓会小松支部公開講演会 [教務所]	14:00 大谷大学同窓会大聖寺支部公開講演会 [教務支所]	
22	金		13:30 性差別継続学習会[教務支所]	
23	土	9:30 栗津組御講[符津町公民館]		
24	日	13:30 九日講組御講[若原町教願寺]		
25	月			
26	火	9:30 推連協シリーズ講座②[教務所] 14:00 慶讃法要部会[教務所]	10:00 靖国問題学習会[教務支所] 13:30 是旃陀羅問題学習会[教務支所]	
27	水	13:30 教化本部会[教務所]	教務支所事務休止	
28	木			
29	金	15:00 栗津組門徒会総会[井口町おびし荘]	13:30 第1組組会[教務支所]	
30	土	13:30 板津組御講[道林町公民館]		
31	日		※月間行事予定表の表記について、本	

《本山・連区・その他の月間行事予定》

・8/25(月)10:00～ 吉崎別院二十五日講[吉崎別院]

慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」